

細胞性粘菌由来分化誘導因子DIFを含有する皮膚繊維化疾患の局所塗布剤

薬理学 高橋富美、有岡将基、石兼 真

利用分野

細胞性粘菌由来分化誘導因子DIFを含む皮膚線維化疾患の予防または治療のための局所塗布剤である。

シーズ

本発明は、細胞性粘菌由来分化誘導因子DIFを含有する局所塗布剤であって、Wnt/ β -カテニン経路を抑制およびYAP/TAZ経路を抑制して、線維化を抑制するとともに、皮下の脂肪組織を維持することにより皮膚の線維化に起因する疾患を予防又は治療する点に特徴を有する。



ニーズ

現在までに、複数の線維化抑制薬が開発されている。但し、脂肪細胞から筋線維芽細胞への転換抑制をコンセプトとして開発された薬剤は知られておらず、さらには局所投与により皮膚に塗布できる抗線維化薬は今のところ存在しない。

連携分野

貼付剤、塗布剤の技術を保有する製薬メーカーとの共同研究。

知財保護

特願2024-150310



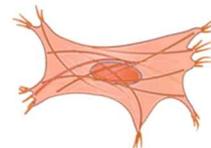
筋線維芽細胞の2つのソース細胞からの転換抑制に特徴がある。



脂肪細胞—筋線維芽細胞転換



線維芽細胞—筋線維芽細胞転換



本学マスコットキャラクター
ラマディー



産業医科大学

産業医科大学 産学連携・知的財産本部

〒807-8555
福岡県北九州市八幡西区医生ヶ丘1番1号

問い合わせ先: 研究支援課
TEL: 093 (280) 0532
FAX: 093 (691) 7518
E-mail: chizai@mbx.pub.uoeh-u.ac.jp